

富士山官民共創コンソーシアム運営支援業務に係る
企画提案選定の手順及び審査の基準（企画提案審査）

1 選定の手順

- ・評価項目及び各項目の配点は次のとおりとし、審査委員 5 名が採点する。
- ・企画提案者の中で、各審査委員の合計点の平均点が最も高かった者を契約候補者とする。
- ・最も高い平均点の提案者が複数あった場合には、審査会で協議の上、総合的に判断し、契約候補者を選定する。なお、総得点が 1 位であっても、仕様書に沿わない場合や著しく低い審査項目がある場合は契約候補者を選定しないことがある。
- ・各審査委員による合計点の平均点が 6 0 点未満の場合は、当該企画提案者を契約候補者として選定しない。企画提案者が 1 者の場合も同様とする。

2 審査の基準

項目	内容	配点
提案者の情報		
類似事業の経験や専門知識・知見	・官民共創コンソーシアム又は類似するプラットフォームの運営支援、参加者の募集・関係者調整、案件形成及び事業化支援に関する実施経験について ・KPI達成に必要な専門性（官民共創、コミュニティ形成、プロジェクトマネジメント、事業スキーム・資金調達、実証・事業化、モニタリング・評価等）及びその活用方法について ※類似業務の実施経験は、単なる件数ではなく、本業務との類似性、担当範囲、成果及び得られた知見を記載 ※会社としての専門性に加え、配置予定者の専門性及び業務履歴も審査対象とする	20
実施体制・法令遵守・個人情報保護体制	・KPI達成に必要な責任者及び担当者の配置、役割分担、実務経験並びに他社・外部専門家との連携体制について ・業務量の変動や課題発生時にも対応できる実施体制について ・コンプライアンス及び個人情報等の管理体制について	5
基本的事項		
本事業の目的に対する基本的な考え方・スケジュール	・背景、目的及び中長期・短期KPIを踏まえた本業務のゴールについて ・KPI達成に向けた実現可能な事業実施スケジュールについて ・「富士北麓グランドデザイン策定支援業務」との情報共有、役割分担、成果の相互反映等の具体的な連携方法について	25
業務実施における具体的手法		
業務実施における具体的手法	・参画団体40団体以上の確保・維持及び令和10年度末60団体以上の目標を見据えた、参加呼びかけ、参画継続、新規参画・脱退及び活動状況の把握方法が具体的か ・案件20件以上の整理、案件管理台帳の月1回以上の更新並びに各案件の出口及び次年度対応方針の整理方法が具体的か ・官民共創プロジェクトの形成、実証・事業化、既存施策への移管又は他の実施主体への引継ぎ、推進主体・企画会社等のスキーム検討方法が具体的か ・域内交通、来訪者コントロール、受入環境高度化及び投資誘致の4分野について、各1件以上の検討成果を作成するためのWG設計及び資料作成・検討支援方法が具体的か ・KPIの定義、現状値、目標値、確認時期、確認資料及び担当者の設定、月1回以上の進捗確認並びに未達時の原因分析・是正措置が具体的か ・その他、仕様書に位置づけられた内容に加え、本県の目的達成に資する提案があるか	40
その他 ※見積書で評価		
見積金額		10
合計		100